

麗気烈風

令和4年1月27日(木)

文責 村田和人

～ 教育は「共育」「協育」「強育」で ～

～ 【 高校入試を終えて 】 ～

高校入試シーズン真っ只中です。先週から私立高校奨学・専願入試の合格発表が始まりました。高校入試で、子ども達は生まれて初めて「選ばれる」立場になるという経験を経験します。これは「人生史」の中でもとても大切な意味を持ちます。高校入試を通して、これまで人生のどの場面でも「選ぶ」ことしか経験しなかった子ども達が、人生、必ずしも自分の思い通りにならないことがある、ということを経験されます。そして、そうした経験を積み重ねる中で、

たくましく生きていく力がその子の中に蓄積され、これからの人生100年時代を乗り切っていく原動力となっていくのだと思います。



高校入試とはそんな意味もあります。

まずは合格した生徒の皆さん、おめでとうございます。これで進学先が決定した生徒もいれば、第一志望の高校合格への第一段階をクリアしたという生徒もいることでしょう。

そして残念な結果になってしまった生徒達。私も昔、同じ経験をしました。合否が分かった時は目の前真っ暗となり、「俺の人生終わった。」と悲観的なことばかり考え、しばらくは勉強も何も手につかず無気力な時期がありました。しかし今、振り返ってみれば、あの挫折を経験したからこそ、今の自分や人生があるのだらうと思います。「人生、万事塞翁が馬」です。大学の恩師が口癖のように「人生、よかったか悪かったかはこの世を去るときにしか分からないものだ。」と仰っていました。本当にそう思います。今はつらくとも、歯を食いしばって次の勝負に備えてください。今できること、すべきことはそれしかありません。

～胸を張って生きろ

己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと

心を燃やせ

歯を食いしばって 前を向け

君が足をとめても うずくまっても

時の流れは止まってくれない

共に寄り添って悲しんではくれない ～

【 「鬼滅の刃・無限列車編」
煉獄杏寿郎の言葉より 】

過去を引きずることなく、今日は何をすべきか
のみに考えを全集中し、やるべきことを 100%実行し、達成感を持って爆睡する。今はそれをただ繰り返してください。きっと夢が叶う日がきます。

～ 【 学力の次は人間力を 】 ～

そして既に進路が決まった生徒達。嬉しくて、楽しくて、卒業式まであれをして、これをして、何をして、とわくわくしながらいろいろな計画を立てていることでしょうか。それはそれでよいことです。これまでの努力の成果が実った結果ですから、何ら支障があることではありません。

しかし、喜ぶだけではだめです。未来が見えてきたら過去を振り返らなくてはなりません。

過去を振り返るとはどういうことか。合格の喜びは誰によってもたらされたものか。もちろん、第一に自分自身の頑張りでしょう。でもそれしか思いつかないなら人間力が少々不足しているかもしれません。3ヶ月後は高校生です。高校生の考え方としては「それでは頑張れたのは誰の支えがあったからか。」と思わなければなりません。まずは家族、お父さん、お母さんです。日々の食事、洗濯、身の周りの世話ががあったおかげです。そして友達。不安なときに愚痴を聞いてくれたり、相談に乗ってくれたおかげです。そして先生方。働き方改革なんてどこの世界のこと？と思わざるを得ないほど、毎日、遅くまで3年部の先生方は職員室で入試事務をしていました。そのおかげです。

入試が終わった生徒は人間力をさらに高めましょう。身の周りにいくつ「ありがとう。」と言えることを見つけれますか。たくさん見つけられ



る人ほど、目配り、気配り、心配りのできる人であり、また誰にでも優しくでき、信頼される人だと思います。どうか卒業のその日まで成長を止めないでいてほしいと思います。

～ 【 学級閉鎖のお知らせ 】 ～

詳しくは安心メール等でお知らせしていますが、現在、2年1組(今日まで)と1年2組(今日から日曜日まで)学級閉鎖中です。ゼロコロナからウィズコロナの時代に入ってきたことを実感しています。子ども達が安心して治療し、安心して登校できるように、皆さんで応援してほしいと思います。チーム鹿南の団結力を期待しています。